

目次

まえがき(凡例)・vi

I 秋艸道人その学問と藝術

1

南京新唱・3

奈良美術史料推古篇・5

南京餘唱・6

鹿鳴集・7

渾齋近墨・8

寒燈集・9

山光集・10

聖徳太子傳私記・12

高僧法顯傳・13

佛教美術研究資料・15

會津八一法隆寺建立年代考聴講參考資料・16

村莊雜事・17

渾齋隨筆・18

山鳩・19

觀音堂十六首・20

望郷・21

遊神帖・22

自註鹿鳴集・23

春日野・24

春日野の歌・25

秋艸道人墨蹟・26

II 都の西北

長生新浦島・28

逍遙選集・30

藝術殿・33

坪内逍遙・34

星座巡禮・36

寒窓集・37

鍋島直正公傳・38

興風 森田先生追悼號・39

裁雪・40

東洋學研究・41

支那上代思想史研究・42

支那神話傳説の研究・44

江戸文学研究・46

悪童・48

吉江喬松全集・50

さざれ水・52

槻の木・53

國文學・54

卒業記念帖・55

文藝と批評・56

明治文學・57

早稻田大學新聞・58

早稻田大學附屬東洋美術陳列室繪葉書・59

十年・60

早稻田法學會誌・61

早稻田大學アルバム・62

III 懷古 そして奈良へ

都市と村落・64

日本傳説集・65

郷土研究・66

心境・67

民間傳承・68

梵雲庵雜話・69

日本彫刻精華・70

室生寺大觀・71

百濟觀音・72

考古游記・73

東洋美術・74

美術史上の奈良博物館・75

東洋美術特輯 正倉院の研究・76

東洋美術特輯 正倉院の研究 別冊・77

東洋美術特輯 醍醐寺の研究・78

日本美術史 先史及原始時代・79

法隆寺壁畫の研究・80

唐招提寺古記拔萃・81

法隆寺の壁畫・82

法隆寺の銘文・83

雜華嚴淨・84

天平・85

金銅如意輪觀世音菩薩半跏思惟像・86

大和路巡禮の歌・87

諸國手織手染一覽・88

やきもの趣味・89

壺中居展・90

古書目錄・92

IV 慕い、集う人々

版藝術・94

古瀬戸・95

太陽 増刊 自然美之日本・96

文學行動・97

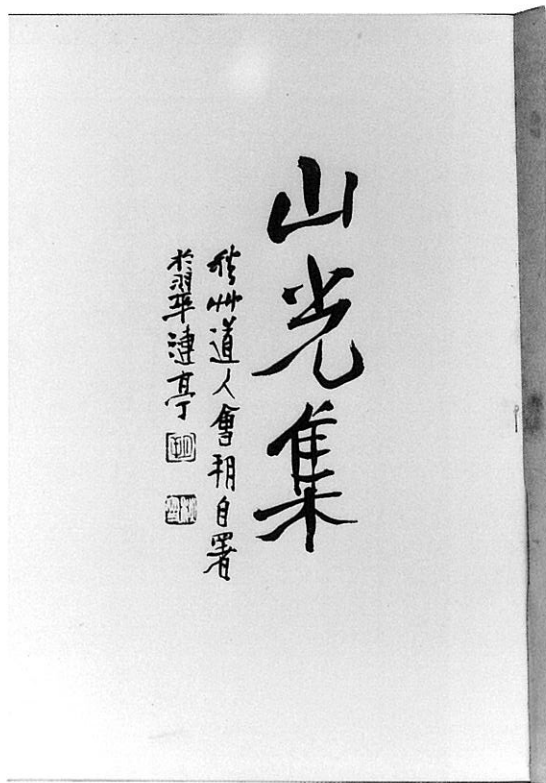
日本靈異記・98

人生好日・99

苔徑集・101

寒蟬集・102

早梅集・103



初版

山光集

會津八一 著

養徳社創立事務所 昭和十九年九月二十日発行 縦一八・三cm×横一三・〇cm

會津八一は、『山光集』の例言で、次のように述べている。

〈さきに『鹿鳴集』を出したる後、今日にいたる四年間の和歌二百四十五首に舊作「斑鳩」十二首を添へて、この書を成せり〉
また、昭和二十一年の改訂再版には、「改版に當りて」と題して、
〈本集の初版は東京なる製本者の手にありて、戦火を被ること二回。焼失の數八千部に及び世に布き得たるは甚だ少ければ、ここに版を改めて増刷することとなせり〉
とし、

〈初版の題扉は原木烏有に歸したるが故に、疎開先なる新潟縣北蒲原郡中條町西條の丹呉康平君の邸に於て、新にこれを爲せり〉
と記している。

初版は二百十四ページ、再版は百九十六ページである。初版に写真がまったくなく、再版には影印五枚が加わっている。作品数にも変更があり、字句も修正している。

なお養徳社は、現在も奈良県にある出版社である。

放庵水墨畫冊	104
放庵墨畫 第三冊	104
放庵画譜	104
放庵花鳥冊	104
放庵花鳥選	104
遍路	106
日本雜事詩	108
八號館	109
好古	110
童話研究	111
金石流光	112
瓦甍集古	113
日本美術年鑑	114
苜冬	115
能樂史料	116
上野國分寺文字瓦譜	117
村の外	118
學叢	119
御歌人としての後鳥羽上皇	120
社會	121
象徴	122
蒲の穂	123
千葉縣郷土史讀本	124
青雲	125
星より地球へ	126
若き生命	127
晩霜	128
滴水録	128
天皇	130
秋艸道人小照	131
皇居に生きる武蔵野	131
霧積	132

V ふるさと 新潟

143

譯萬葉	133
作歌	134
國分寺古瓦拓本集	135
岩菅集	136
染谷進歌集	137
日本古印新攷	138
百濟美術	139
文學の本領	140
事に触れて	141
池大雅畫譜	142
惜春雜記	144
藝術時代	145
日本馬術史	146
櫻井政隆遺稿	147
はたれ	148
新潟短歌	149
安宅安五郎日本畫冊	150
月刊にひがた	151
越後の御旅	152
新潟日報	153
夕刊新潟日報	154
新潟大學新聞	155
食糧の國內自給	156
茶の友	157
越佐研究	158
新潟県文化財圖録	159
東洋古陶磁名宝展	160
前島密記念館案内	161
刈上	162

VI 題簽參考資料

163

父「八雲」を憶ふ	164
金石文の研究	164
志野と織部	164
藝道の構成	164
日本の古塔	165
歌誌「あきくさ」題簽稿	165
群像	166
夕刊ニヒガタ・夕刊新潟	166
支那金石拓本展観	166
平和の國連	166
萬葉歌人泥像	166
喜雨集	166
沖の味	167
山家漬	167
芳醇	168
田中丸治朗に書き与えた博多名菓の銘	168
近江屋のマッチ	169
中村屋 菓子銘	169
秋艸道人筆團扇	170
喫茶去	171
會津八一揮毫墓碑一覽	172
年代順 會津八一揮毫題簽書籍書誌	177
人物相関図	179
人名索引	180
あとがき	181
ご協力者	182